

2023年3月期 決算説明会資料

株式会社アイスコ | 証券コード：7698
東証スタンダード市場



I Care Everybody Company

あらゆる人々に慈しみの心をもって接する企業でありたい

目次

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 会社概要 | P.3 |
| 2. 2023年3月期 決算概要 | P.7 |
| 3. 2024年3月期業績予想 | P.16 |
| 4. 株主還元 | P.21 |
| 5. 中期経営計画の進捗状況 | P.23 |



1. 会社概要





 **アイスコ**
代表取締役社長
相原 貴久

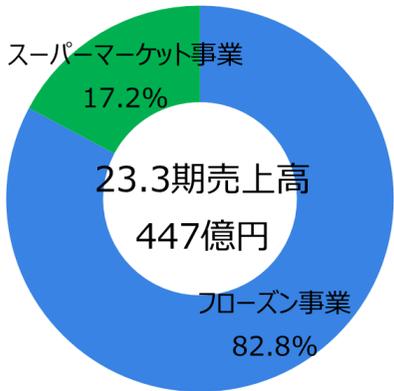
I Care Everybody Company

～あらゆる人々に慈しみの心をもって接する企業でありたい～

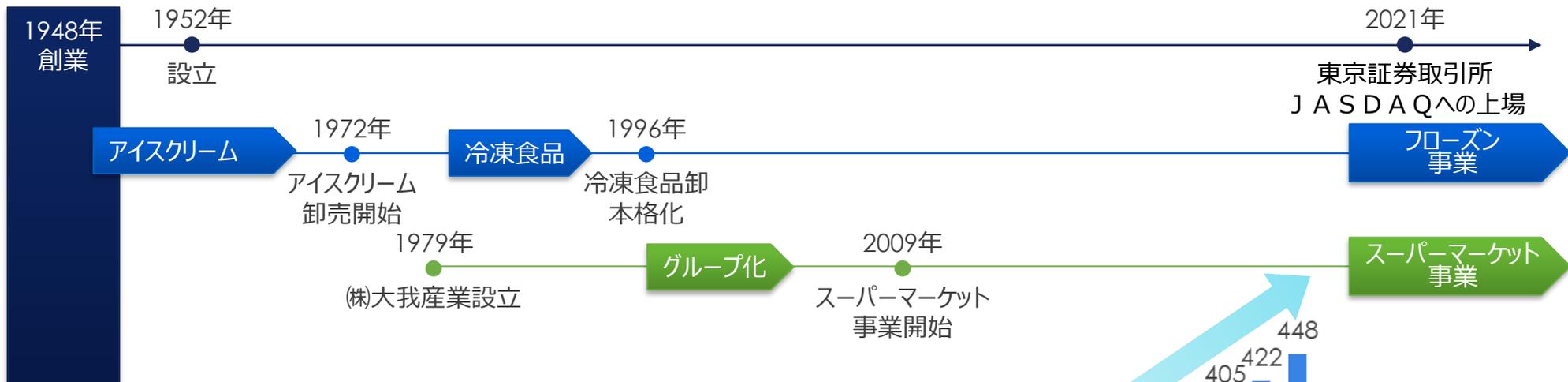
行動指針

- 1、「情熱・挑戦」情熱を持って、常に新しい事に挑戦していく。
- 2、「努力・決意」日々の努力と、絶対に諦めないという強い決意を持つ。
- 3、「感謝・謙虚」常に感謝の気持ちと謙虚な心を忘れない。

以上3つを掲げ、お客様に感動と満足を感じて頂ける、そして社員一人一人が、生き活きとやりがいを持って、仕事ができる企業を目指していきます。

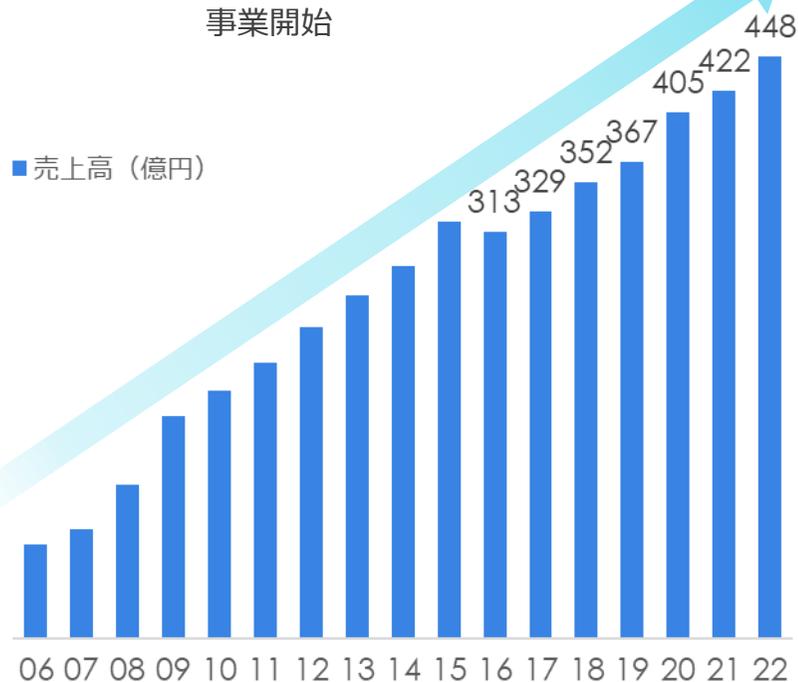
社名	株式会社アイスコ 【英文名】Iceco Inc.
本社	神奈川県横浜市泉区新橋町1212番地
代表者	代表取締役社長 相原 貴久
創業	1948年5月
資本金	360百万円（2023年3月31日現在）
従業員数	693名（他臨時雇用者269名）（2023年3月31日現在）
事業内容	アイスクリーム類及び冷凍食品等の卸売、スーパーマーケット
売上構成比	<p>売上構成比</p>  <p>23.3期売上高 44.7億円</p> <p>スーパーマーケット事業 17.2%</p> <p>フローズン事業 82.8%</p>

□ 1948年5月に創業し、一貫してフローズン事業を展開



本社社屋

神奈川県横浜市泉区
新橋町1212番地



*16年度からリポートを売上として計上しない会計方針に変更

2. 2023年3月期決算概要



2023年3月期 決算概要 修正計画比



- 売上高は冷凍食品の売上増加により修正計画通り
- 価格転嫁のタイムラグにより売上総利益及び各段階利益は計画比でマイナス

(単位：百万円)	2023年3月期 修正計画	構成比	2023年3月期	構成比	増減額	増減率
売上高	44,868	100.0%	44,886	100.0%	18	0.0%
売上総利益	7,914	17.6%	7,804	17.4%	△109	△1.4%
販売費及び一般管理費	7,713	17.2%	7,687	17.1%	△26	△0.3%
営業利益	200	0.4%	117	0.3%	△83	△71.4%
経常利益	247	0.6%	179	0.4%	△68	△38.2%
当期純利益	191	0.4%	144	0.3%	△47	△32.6%

2023年3月期 決算概要 前期比

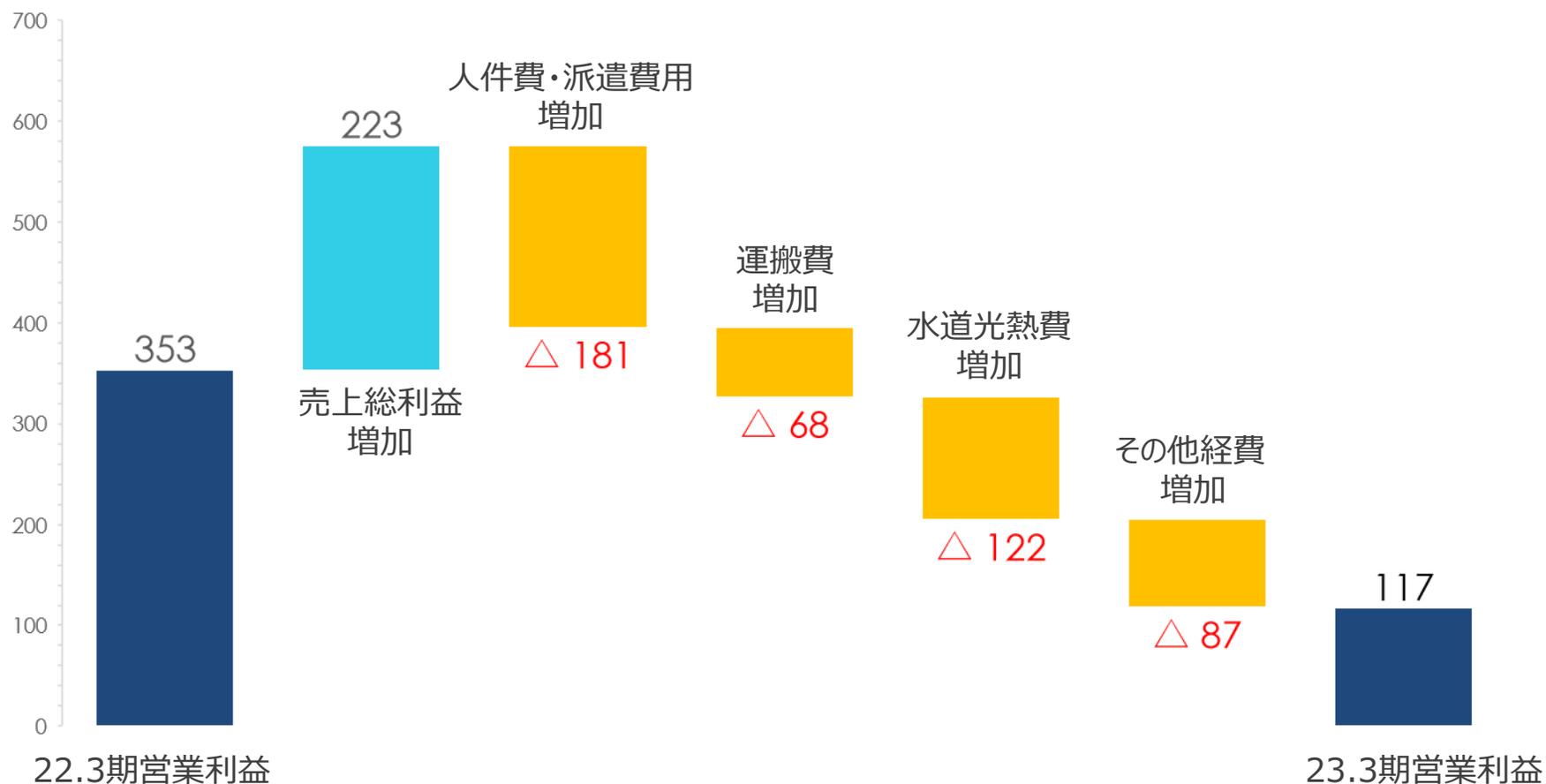


- フローズン事業の主要得意先の売上が増加したが、配送費用、燃料価格の高騰によるコスト増加及びコスト増加に伴う価格転嫁においてタイムラグが生じたことにより減益
- スーパーマーケット事業は食品値上や電気料金の高騰により厳しい状況が続く

(単位：百万円)	2022年3月期	構成比	2023年3月期	構成比	増減額	増減率
売上高	42,264	100.0%	44,886	100.0%	2,621	6.2%
売上総利益	7,580	17.9%	7,804	17.4%	223	3.0%
販売費及び一般管理費	7,227	17.1%	7,687	17.1%	459	6.4%
営業利益	353	0.8%	117	0.3%	△236	△66.8%
経常利益	409	1.0%	179	0.4%	△230	△56.3%
当期純利益	255	0.6%	144	0.3%	△110	△43.4%

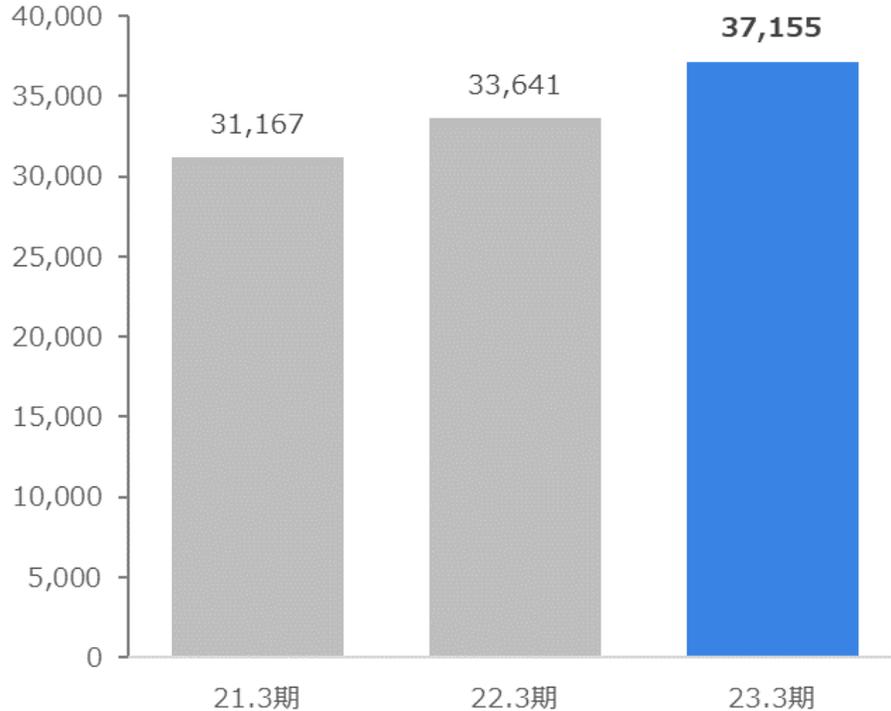
- フローズン事業、スーパーマーケット事業ともに燃料価格の高騰や、電気料金の値上げにより、前期比で減益

(単位：百万円)

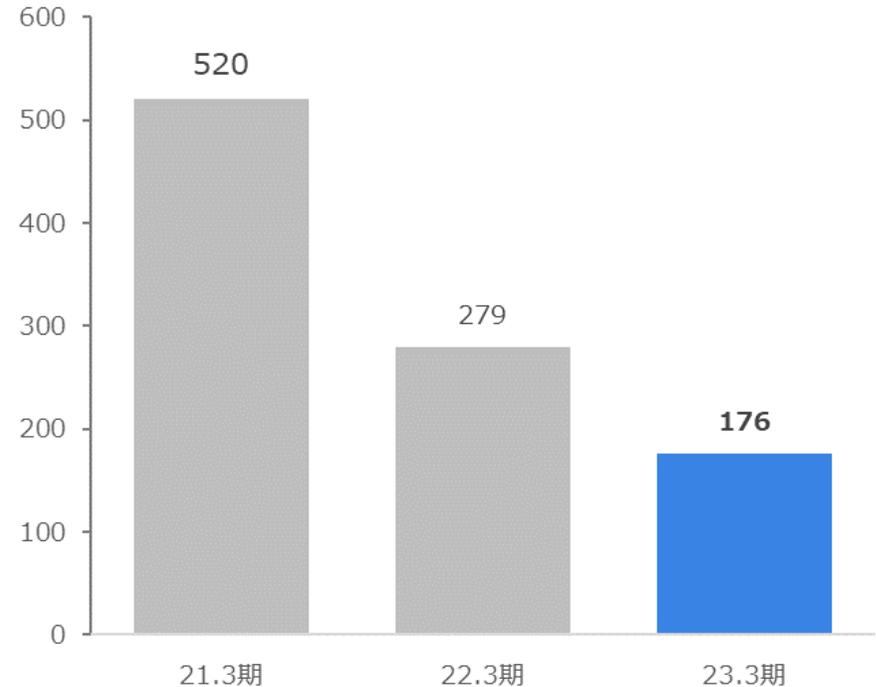


- セグメント売上高は主要得意先の出店により増加
- セグメント利益は人件費・派遣費用の増加や、燃料費高騰で軽油代、電気代が増加し減益

■ セグメント売上高推移（百万円）



■ セグメント利益推移（百万円）



セグメント別業績 - フロースン事業 業態別/カテゴリ別売上



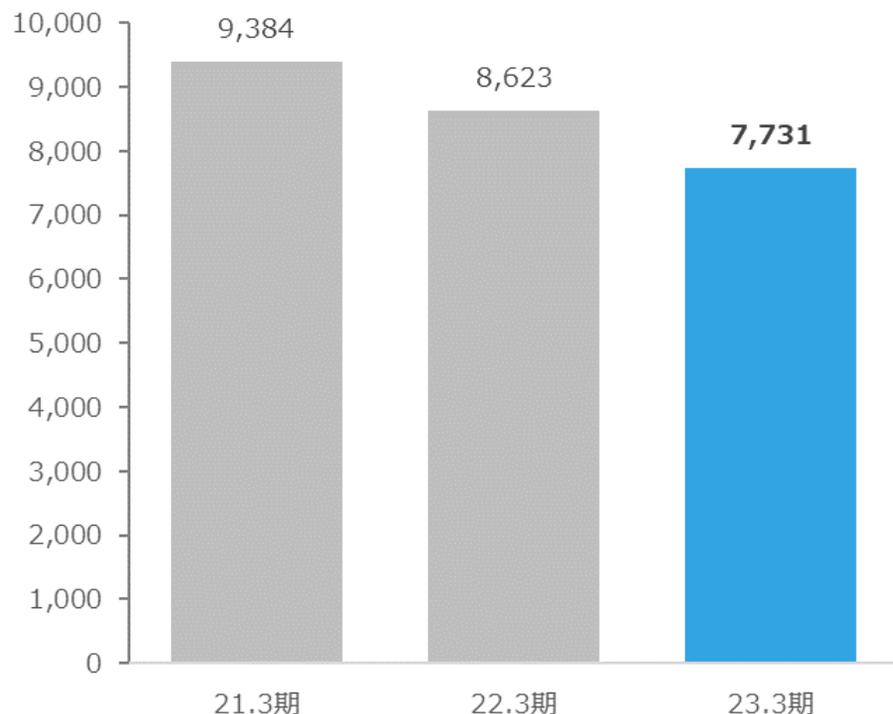
(単位：百万円)	2022年 3月期	構成比	2023年 3月期	構成比	増減率
ドラッグストア	16,076	47.5%	19,429	52.0%	20.9%
ディスカウントストア	10,178	30.1%	10,163	27.2%	-0.2%
食品スーパー	5,614	16.6%	5,741	15.4%	2.3%
その他	1,986	5.9%	2,033	5.4%	2.3%
合計	33,857	100.0%	37,368	100.0%	10.4%

(単位：百万円)	2022年 3月期	構成比	2023年 3月期	構成比	増減率
冷凍食品	19,044	56.2%	21,751	58.2%	14.2%
アイスクリーム	14,165	41.8%	14,917	39.9%	5.3%
その他	647	1.9%	698	1.9%	7.9%
合計	33,857	100.0%	37,368	100.0%	10.4%

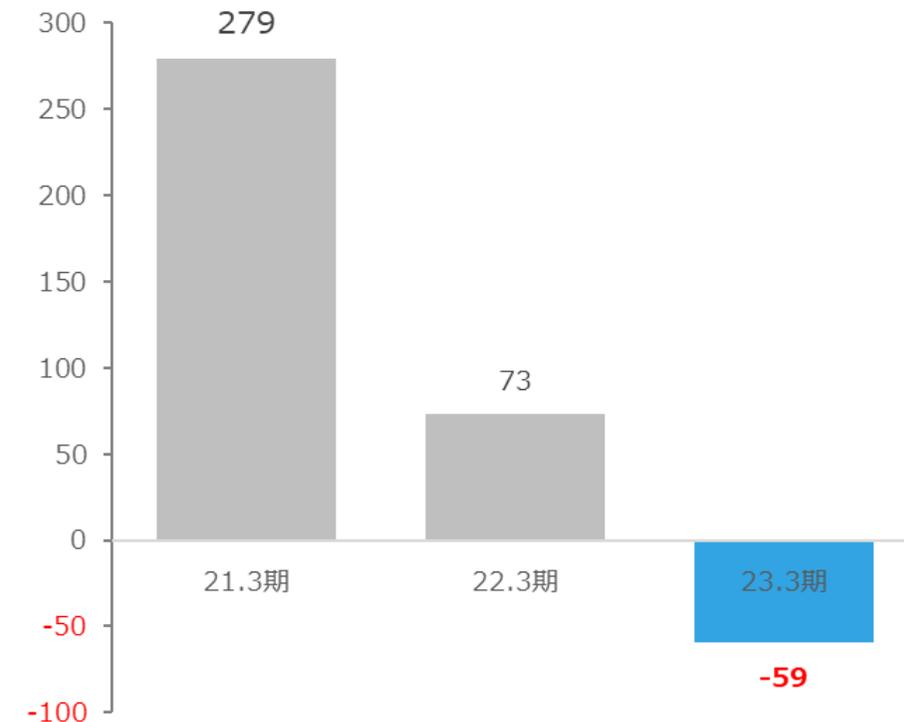
※セグメント間取引を含む売上高

- 2022年4月に浜松店を閉店したことによりセグメント売上高は減少
- 広告費等の経費を削減するも、競争環境激化による既存店の不振や、電気代の値上げによりセグメント利益は減益

セグメント売上高推移（百万円）



セグメント利益（損失）推移（百万円）



2023年3月期 貸借対照表



(単位：百万円)	2022年3月期 期末	2023年3月期 期末	増減額
流動資産	8,499	8,959	460
固定資産	6,360	6,164	△196
有形固定資産	5,049	4,906	△143
無形固定資産	27	15	△11
投資その他の資産	1,283	1,242	△41
資産合計	14,860	15,124	264
負債合計	11,787	11,958	170
流動負債	8,670	9,194	523
固定負債	3,116	2,763	△352
純資産合計	3,072	3,166	93
負債・純資産合計	14,860	15,124	264
1株当たり純資産（円）	1,610.92	1,644.18	33.26
自己資本比率	20.7%	20.9%	0.2%

2023年3月期 キャッシュフロー



(単位：百万円)	2022年3月期	2023年3月期	増減額	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	992	391	△600	<ul style="list-style-type: none"> 税引前当期純利益220百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△234	△199	34	<ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産の取得 △307百万円 敷金及び保証金の回収 +90百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△148	△512	△363	<ul style="list-style-type: none"> 長期借入金の返済△456百万円 配当金の支払△70百万円
現金及び現金同等物の 期末残高	2,287	1,967	△319	

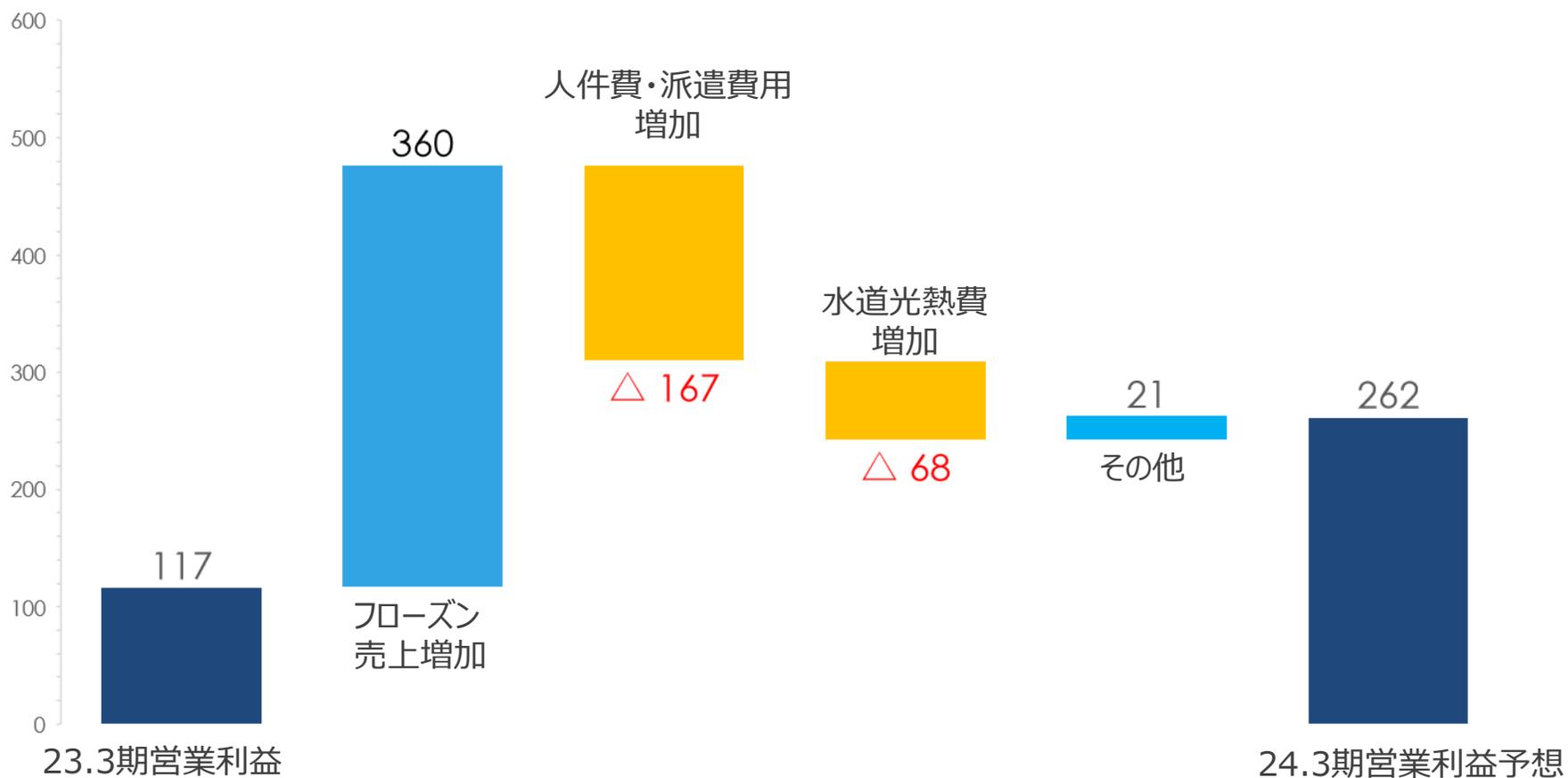
3. 2024年3月期 業績予想



- ❑ 売上高は冷凍食品市場の拡大や得意先の出店が見込まれ増収見込み
- ❑ 利益面は遅れていたコスト増加の価格転嫁が進み増益を見込む

		前期増減率
売上高	46,810百万円	4.3%
営業利益	262百万円	123.9%
経常利益	318百万円	77.6%
当期純利益	205百万円	42.5%

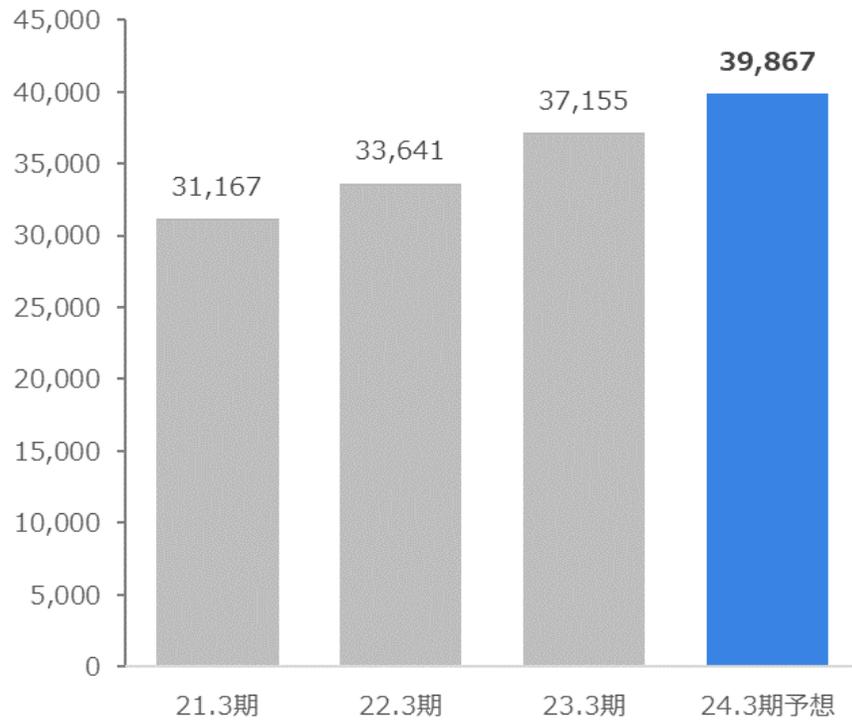
- 売上の増加に応じた人件費等の増加や原油価格高騰による燃料費等の費用が増加
- 冷凍食品、アイスクリームの価格改定により経費増加を吸収



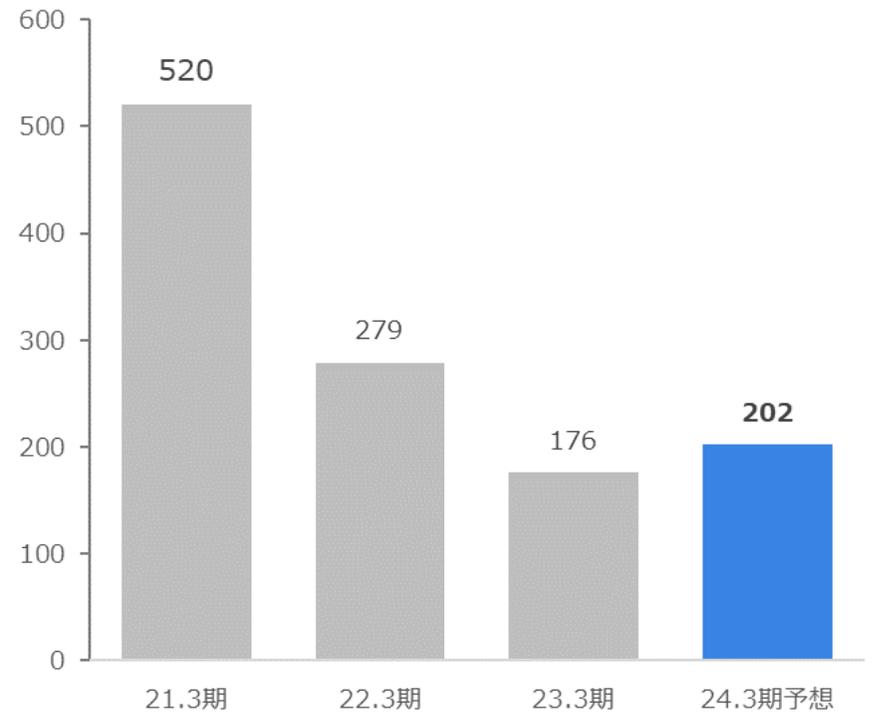


- 堅調な得意先の出店や冷凍食品市場の拡大により売上高は増収見込み
- 利益面も価格転嫁が進みコスト上昇分を吸収し増益見込み

セグメント売上高推移（百万円）

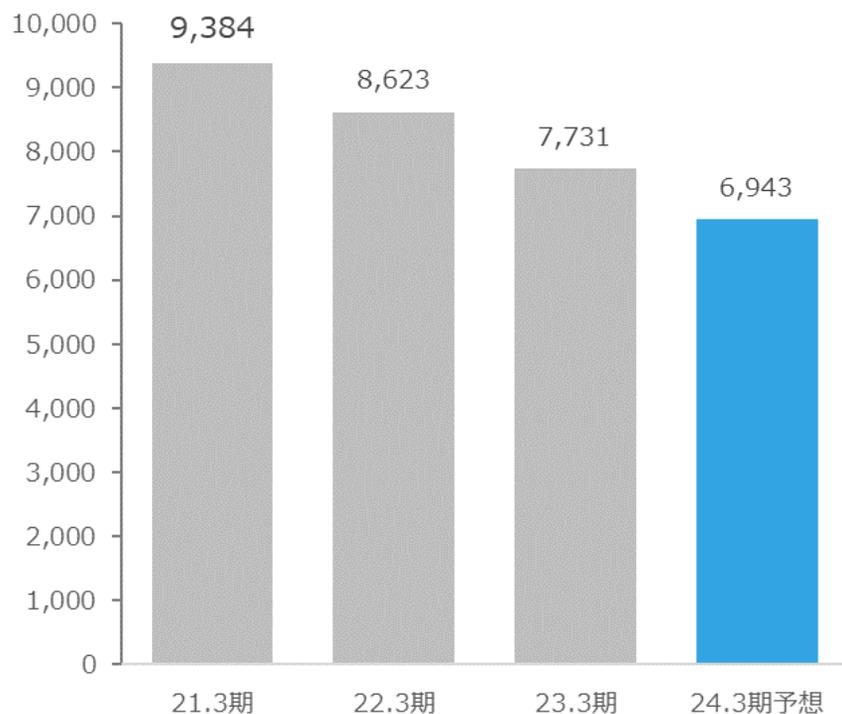


セグメント利益推移（百万円）

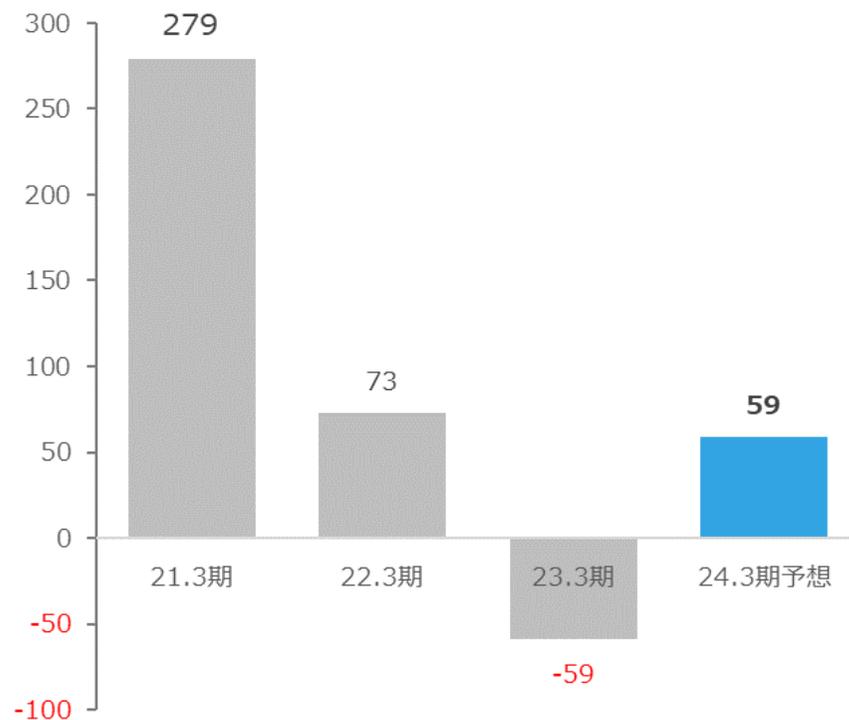


□ 3店舗閉店、1店舗出店に伴うスクラップ&ビルドによりセグメント利益は黒字化の見通し

セグメント売上高推移（百万円）



セグメント利益推移（百万円）



4. 株主還元



□ 配当

2023年3月期当初予想通り中間配当19円/株、期末配当18円/株の配当を実施いたします。

2024年3月期は業績予想を勘案し、中間配当15円/株、期末配当15円/株の年間配当30円/株を予定しております。

2023年3月期 配当金実績

中間配当

19
円/株

期末配当

18
円/株

年間配当

37
円/株

2024年3月期 配当金予想

中間配当

15
円/株

期末配当

15
円/株

年間配当

30
円/株

5. 中期経営計画の進捗状況



アイスコの目指す姿



圧倒的なサービス



食を通じた社会貢献



人財力の最大化

10
年後
数値
目標

売上高

1,000 億

営業利益（率）

25 億 (2.5%)

成長戦略 ～収益力の向上～



サービス品質の向上

- ✓ フルメンテナンスサービスを磨き上げ、お客様にとっての揺るぎない存在へ
- ✓ 商品品質・接客サービスを磨き上げ、お客様満足度No.1を目指す



新規事業の創出

- ✓ 収益力の高い新規事業の創出
- ✓ グローバル事業展開の検討



自立型人財の育成

- ✓ 自ら考え行動し、結果を出せる社員の育成
- ✓ 人を育てることが出来る社員の育成



DXの推進

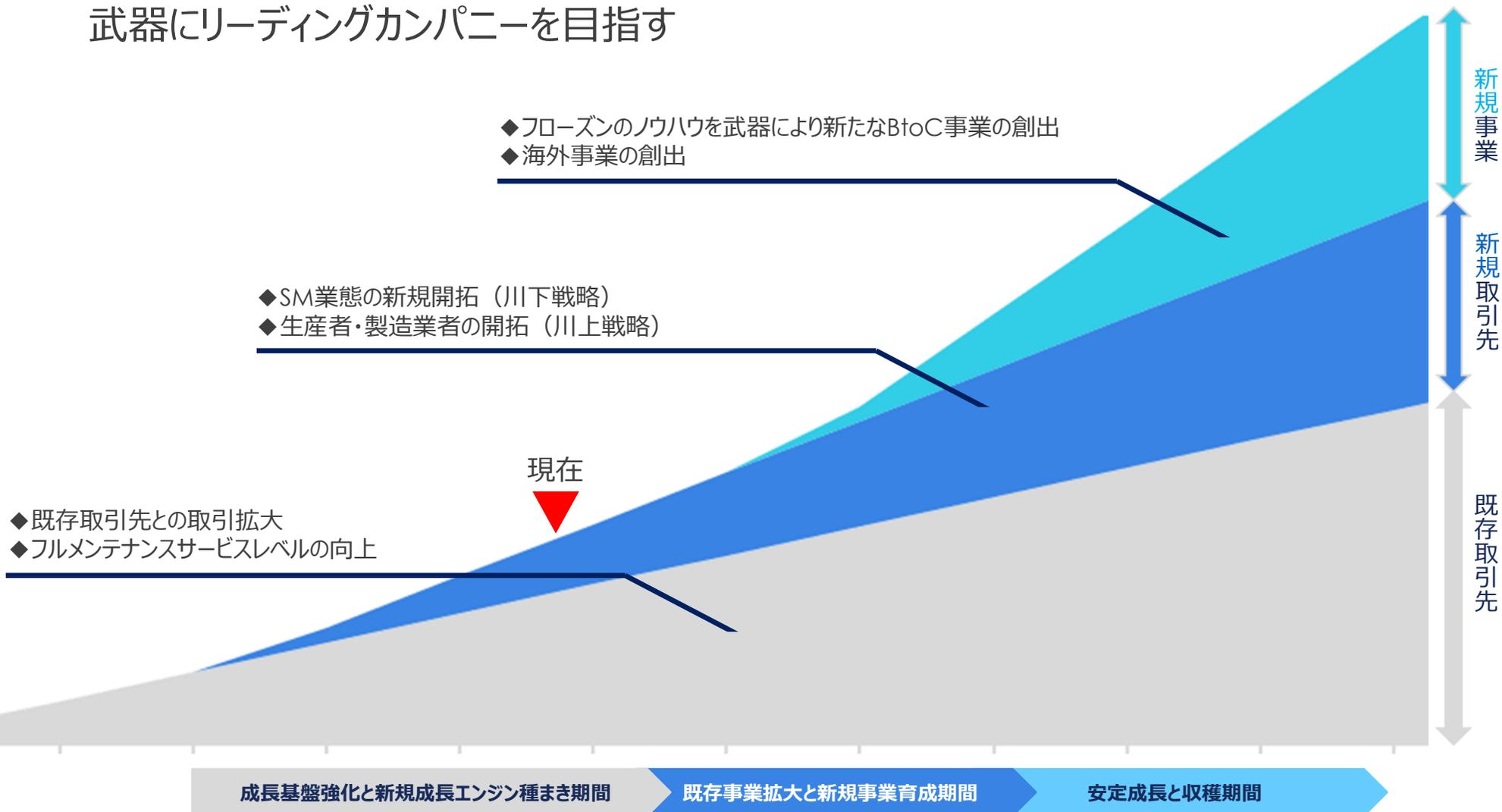
- ✓ デジタル技術や戦略に十分な知見を持つ人財の確保
- ✓ デジタル技術を活用し、新たな価値を創出



SDGs取り組み

- ✓ 自社倉庫の屋上に太陽光パネルを設置し、冷凍庫の電気の一部を太陽光発電で賄う
- ✓ 環境配慮型トラックの導入を検討

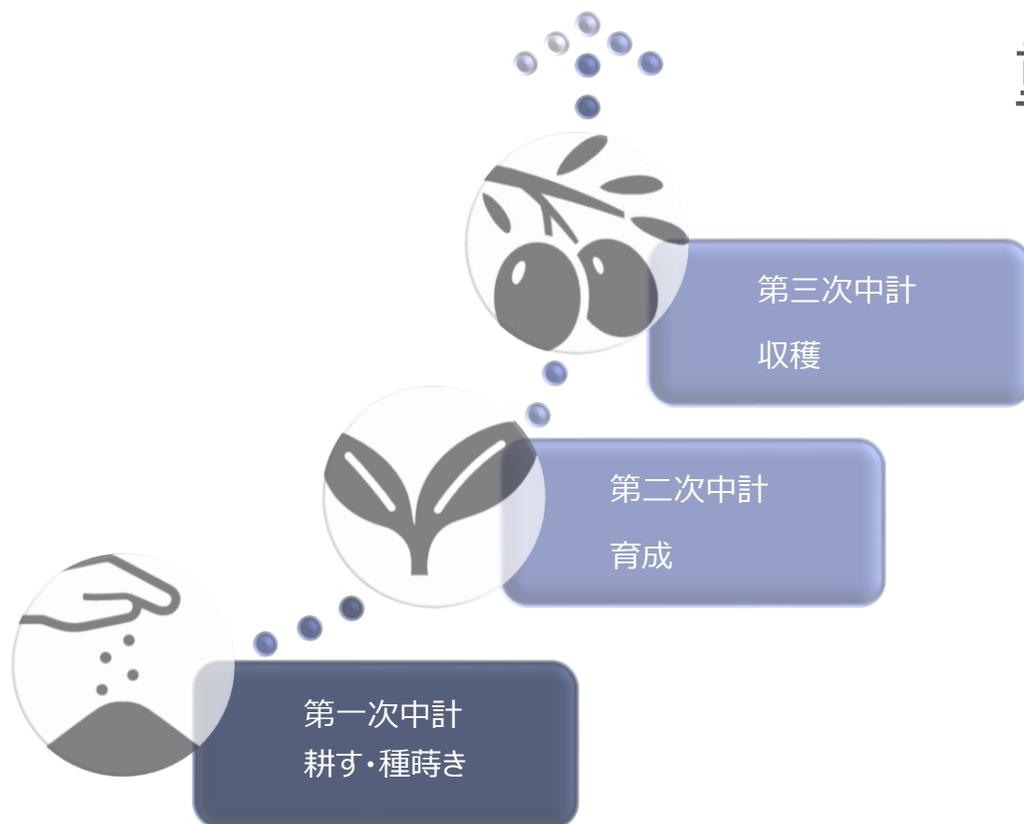
□ 中長期の成長イメージは、拡大が見込まれるフローズン市場において**差別化戦略**を武器にリーディングカンパニーを目指す



強靱な経営基盤の再構築

重点テーマ

- ・人財育成と組織力向上
 - ▶ 戦える人財や組織を創る
- ・既存事業の収益力向上
 - ▶ 徹底的な合理化、効率化の推進
- ・新規事業の創出
 - ▶ 新たな成長エンジンを模索



● 第一次中期経営計画は、10年後の目標達成に向け足場固めを行いながら、売上・利益の拡大を図る

- 第一次中期経営計画（耕す・種蒔き）は「強靱な経営基盤の再構築」をテーマに3つの課題に取り組んでおります。

1

人材育成と組織力の向上

- ✓ 動画マニュアルなどITツール活用による研修の実施
- ✓ 事業部責任者の変更を含む、組織体制の見直し
- ✓ 働き甲斐のある会社を目指し、新人事制度の導入を検討

2

既存事業の収益力向上

- ✓ 北関東エリアの売上拡大に伴いサテライト拠点の新設を予定
- ✓ 新ハンディターミナル導入等のDXの推進
- ✓ スーパーマーケット店舗のスクラップ&ビルド

3

新規事業の創出

- ✓ 海外事業の種まきを開始
- ✓ 2022年12月にフローズン専門店を新規出店

FROZEN JOE'S

■ *BLZ description* (業容)

「フローズンのスペシャリストが手掛けるフローズン専門店」の出店

- 商品調達、商品開発、食品スーパー運営のノウハウを活用し、フローズン専門店を出店予定
- 商品調達、商品開発、物流、販売までを自社で行える体制が強み

■ *Shop name* (店名)

冷凍食品、アイスクリームを取扱うフローズン専門店

FROZEN JOE'S (フローズン ジョーズ)

■ *Philosophy* (理念)

人々にとって安心・安全で美味しい商品を提供し、健康で平和な世界の実現に貢献する。

■ *Brand concept*
(ブランドコンセプト)

フローズンのスペシャリストが手掛けるフローズン専門店として、「欲しいものが見つかる店」「持続可能な世界の実現に貢献する店」を目指す。

- ▶ 国内外から高品質なフローズン製品をセレクトしお手頃価格で提供
- ▶ 外食店とのタイアップ品や業務用製品の品揃えにより家庭の食卓をより豊かに
- ▶ 食肉問題や健康志向に対応する代替肉製品の品揃えにより食の進化に貢献
- ▶ 冷凍食品需要の裾野を広げ、食品ロス軽減に貢献

■ *Strength* (強み)

長年、冷凍専門の卸売事業と食品小売事業を運営しており様々なノウハウと機能を保有。

- ▶ 国内外に多数のサプライヤーネットワークを保有 (約250社)
- ▶ 本業の卸売事業において約5000店の納品先を有しており、販売分析、冷凍物流等におけるノウハウを蓄積している
- ▶ 社内に小売事業部 (食品スーパー運営) を保有しているため、小売店運営における様々なノウハウを蓄積している



新規事業の創出 フローズン専門店 – 元住吉ブレイメン通り店 (1号店)





持続可能な社会に向けた取り組み

太陽光パネルの設置



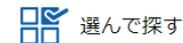
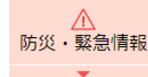
自然冷媒型冷凍ケース導入



グリーンボンド債投資



神奈川県
Kanagawa Prefectural Government



ホーム > 電子県庁・県政運営・県勢 > 財政・経理 > 財政（予算・決算・県債） > 神奈川県債のご案内 > 市場公募債（グリーンボンド）

市場公募債（グリーンボンド）のご案内

神奈川県が発行する県債「グリーンボンド」のお知らせのページ



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs 未来都市 神奈川県

県では、毎年のように発生している豪雨や台風等による水災害への対策として、「神奈川県水防災戦略」を推進しています。昨年度に引き続き、同戦略で定めた事業に充当する県債について、グリーンボンド（注釈）として機関投資家向けに発行しますのでお知らせします。

（注釈）グリーンボンド：地球温暖化や気候変動など、環境分野への取組みのために発行される債券

□ 本資料に関するご照会先

株式会社アイスコ

経理部・経営企画部

E-mail : ir-info@iceco.co.jp

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。